

# 校長室だより

6月下旬に菊池郡市中学校総合体育大会（以下、中体連大会）が開催され、それぞれの部で自分たちが設定した目標に向かつて、中体連大会に挑戦してくれました。結果は、それぞれで、目標を達成したチーム・ペア・個人もあれば、あとちょっとの所で目標に届かず心残りや悔いが残るチーム・ペア・個人もあつたようです。皆さんもご存知のとおり、中体連大会は全国大會まで繋がつてある大会で、日本一を決める大会です。

日本一になれるのは一つのチーム・ペア・個人だけです。つまり、日本一以外は、全て最終的には敗者となります。

私は、「敗者」は、2つに分かれると感じています。「美しき敗者」と「美しくない敗者」の2つで

「美しい敗者」とは、自分の負けを素直に認め、自分に矢印を向け、その負けから何かを学びし、「教訓」、次の試合や人生にその教訓を生かし挑戦することができる敗者です。言い換えると、転んでも（負けても）、何かを掴んで（学んで）立ち上がり、また前を向いて走り出す（挑戦する）ことができるチーム・ペア・個人ということです。

逆に「美しくない敗者」は、自分が負けた原因を周りのせいいや審判のジャッジのせいにして、いつもでも負けを認めることができず、何も学ばず、次へ挑戦しない敗者のことです。言いたい換えると、転んだ原因を地球のせいにして、ただ駄々をこねて泣き、いつまでも立ち上がりうとしないわがままな子どものようなチーム・ペア・個人のことです。

私は、この「美しき敗者」という言葉を工具として菊陽中学校の全生徒（全挑戦者）に贈ります。  
「美しき敗者」は、記録には残らない。しかし多くの人々（皆さん）を支えてくれた家族やなかま、指導者（そして観衆）の記憶の中に、感動的な「美しき敗者」として未来永劫ずっと生き続ける。

（郡市大会総括並びに県推戴式での校長講話より）

# 菊池郡市中学校 総合体育大会

## ～大健闘！感動！～

菊池郡市中学校総合体育大会が行われました。運動部活動に取り組んできた生徒たちにとりましては、中学校三年間のまさに集大成となる大会です。昨年度より、通常開催に戻り、今年度は大都市・熊本市各所において、選手たちが最高の一プレーを發揮できるよう、大変素晴らしい会場を準備していただきました。

すが部活動引退となりますが、三年生の多くは出場する生徒もおり、今後は希望する進路現に向けて、部活動にかけた情熱を学習にして頑張る姿を期待しています。また、一、二年生においては部活動の中心となりますが、三年生に代わって学校の中核としています。よう頑張る姿を期待しています。

## 中体連大会及上位入賞 ※敬称略

ソフトテニス

### 男子団体優勝(県出場)

男子個人

井手・鍋島ペア 優勝(県出場)

中俣・櫻原ペア 準優

女子団体

## 女子個人



### サッカー 優勝(県出場)

柔道

## 男子団体 準優勝

男子個人

### 軽量級の部 野田, 吉野 3位

中量級の部 馬場 2位

重量級の部 元村 3位

## 女子団体 優勝

## 女子個人の部 小鶴 優勝

阿南, 佐藤



劍道

## 男子個人1年生の部

山川 2位

## バスケットボール男子

3